



参加費
無料

SDGsと地球の未来

日大生物資源科学部の准教授ら4名による、オンラインライブ授業のご案内です。

日大生物資源科学部の先生方をお招きして、SDGsの課題について現在どんな研究が行われているのかを学び、地球環境の未来に向けて何をすべきかを探究する、全2回の講座です。第1回は「森とCO₂」、第2回は「食と農」というそれぞれ異なる切り口から、SDGsと環境の課題について一緒に考えます。城南生しか受けれない、高校生のためのオリジナル講座です。ご期待ください！（1回のみ受講、2回セット受講、いずれも可です。）

対象 城南コベッツ・城南推薦塾在籍の高1生～高3生・高卒生

定員 各回30名 * 申込者が30名を超えた場合は、抽選により参加者を決定します。



第1回 「森」から考えるSDGs

日時：7月30日（土）17:00～18:30

担当：小坂泉准教授（森林学科*）
杉浦克明准教授（森林学科*）

〔SDGs目標15：陸の豊かさを守ろう〕

森林におけるCO₂の吸収・放出の仕組みを理解しながら、私たちの暮らしにある「森」をみつめ、未来を考えます。

第2回 ^{アグリ}「食と農」から考えるSDGs

日時：8月20日（土）17:00～18:30

担当：川越義則准教授（アグリサイエンス学科*）
東未来助教（アグリサイエンス学科*）

〔SDGs目標12：つくる責任 つかう責任〕

農作物の生産や流通の仕組みを理解しながら、私たちの暮らしにある「農」をみつめ、未来を考えます。

SDGsと地球の未来



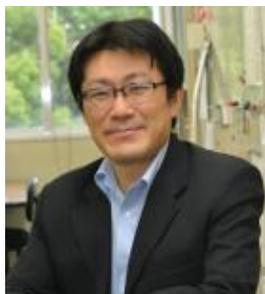
講師のご紹介

* 2023年度からの所属学科

日大生物資源科学部
森林学科*

こさか いずみ
小坂泉准教授

日本大学大学院博士後期課程
単位取得満期退学後（博士
（生物資源科学））に、国土防
災技術（株）勤務を経て現職。
温暖化などの気候変動に伴う気
象環境に対して、ブナ林がどのよ
うに応答するか、長期観測に基づ
いた研究を行っています。



日大生物資源科学部
アグリサイエンス学科*

かわごえ よしのり
川越義則准教授

東京大学大学院農学系研究科を
修了後、東京大学助教を経て現
職。収穫後の農産物が食卓に届く
までの様々な操作に関連したポスト
ハーベストテクノロジーを教育・研
究の対象とし、特に青果物の非破
壊内部品質評価の研究を行ってい
ます。



日大生物資源科学部
森林学科*

すぎうら かつあき
杉浦克明准教授

日本大学大学院博士後期課程
修了（博士（生物資源科学））
し、21世紀COE研究員を経て
現職。学校では学ぶ機会の少な
い森林環境教育に関する研究や
くらしに密着した森林認証制度と
いった森林と社会とをつなぐ研究
を行っています。



日大生物資源科学部
アグリサイエンス学科*

あずま みらい
東未来助教

名古屋大学大学院生命農学研
究科博士後期課程修了（博士
（農学））し、国立研究開発法人
農研機構の研究員を経て、現職。
バイオテクノロジーを活用して花の色
や老化に関する研究に取り組み、
美しく、日持ちが長い花の作出を目
指しています。



受講上の注意点



- ・申込方法・期限などは、別途ご連絡いたします。
- ・当講座はZoomで実施します。画面上で資料を共有する場面があるので、PCまたはタブレットの使用を推奨します（スマホでの受講はお勧めできません）。
- ・参加者には、簡単な事前課題が与えられます。予習をして授業に臨んでください。
- ・授業内でグループディスカッションを行います。先生方から与えられるテーマについて、メンバーと一緒に考えます。
- ・講座運営に必要なため、皆様のお名前・学年・高校名・在籍教室の情報を大学へ提供します。ご了承ください。

日大からのご案内



■日大生物資源科学部が、変わります！

2023年4月、これからの時代を見据えて、学科体制を刷新します。私たちのくらしに重要な生命・食料・資源・環境の課題を複眼的に捉え、自ら解決できる「実践力」のある人材を育成します。

詳しくはこちら→
タブもOK



■第2回オープンキャンパス 開催決定！

8月6日（土）・7日（日）の2日間開催します。新しい学部・学科について、詳しく紹介します。緑豊かなキャンパスで、地球の未来に思いを馳せてみませんか？ お待ちしています！

詳しくはこちら→
タブもOK



城南推薦塾生ならクリエイティブラーニング講座を無料で受講できます！

▶▶ここをタップして、まずは今すぐ資料請求▶▶